

7 ICT（学習用端末）の活用

1 ICT活用の考え方

ポイントは「**効果的**」と「**効率的**」！

- 資質・能力の育成が、より効果的になるように活用する
- 限られた授業（学習）時間を効率的に運用できるように活用する
- 学習ツールの一つとしてICTを活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を行う



2 学びの質を向上させる効果的な活用

(1) 写真や画像、図表がわかりやすく提示できる！

- 意欲・興味を持たせたり、注意を引きつけたりする
 - ・大型モニターや学習用端末で、様々な画像資料や動画を明示する
- 視覚的な補助で理解を促進させる
 - ・言葉による説明だけでなく、視覚的な補助を効果的に取り入れる
 - ・作業の手順や、動きなどを写真や動画で確認できるようにする
- 発信する力・プレゼンテーション能力を育成する
 - ・スライドや写真等の画像を使って、大型モニターや1人1台端末で発表させる

(2) 様々な資料・情報の共有、保存、蓄積が簡単になる！

- 児童生徒の意見や考えを効果的に共有させる
 - ・学習用端末の共有機能を活用して、考えや意見を広めたり深めたりさせる
- 撮影・録画・録音機能（写真・動画）を活用する
 - ・カメラを使って必要な写真や動画を撮影させたり、動きや活動を動画や音声で記録させたりする
 - ・データ上での記録や、写真、動画等で各自の成果を振り返らせたり、自己評価させたりする
- 資料やデータを保存・蓄積し、効果的に活用する
 - ・学習プリントや資料を電子化し、管理・保存を容易にする
 - ・保存した動画から評価をしたり、成果や課題を見取ったりして授業改善を行う

(3) 個別最適な学びを充実させることができる！

- 様々なアプリ・コンテンツの活用で、個別学習や家庭学習を効果的に行う

3 負担軽減・業務改善につながる効率的な活用

- 紙の必要がないものはペーパーレスにし、印刷や配付・回収の手間を軽減する
- アンケートの集約や連絡事項等の周知をオンラインで行う
- 学習の記録や成果物を電子データで計画的に蓄積し、評価等に活用する
- デジタル教科書やデジタルコンテンツを活用し、授業の準備等を効率化する
- 教材や学習プリントを電子データ化し、学校全体で蓄積・共有を行う

学校でのICT活用は、工夫次第で様々な成果が期待されています。
児童生徒にとっても、教師にとっても効果的で効率的な活用ができるように、
少しずつでも実践を積み重ねていきましょう！

